

看護学生のジェンダー意識

Gender Consciousness of Nursing Students

青木 康子

要 約

看護の対象は人間であり，人間理解を基盤にして看護は展開される．従って看護教育でもっとも力を入れているのは対象理解であり，本短期大学では，一般的な体と心の側面から性の側面を加えたカリキュラムで対応している．その1科目である「性保健学」の授業の中の性差，特に時代とともに変化する社会的文化的性差（ジェンダー）に関して調査を行った．ねらいは，ヒトの性について学生に考えさせ，対象理解に役立たせることと，教師自身の学生観のチェックである．全国調査と比較した結果，若年層の意識と一致した点が多かったが，看護学生特有と思われる意識も結婚観・職業観・性別観などにみられた．

キーワード：ジェンダー，性差，性役割

はじめに

看護教育においては，対象である人間を理解することについて教授することは必須であり，カリキュラム上でも多くの時間が組みこまれ，学校各々にその展開に工夫をこらしている．本短期大学では一般的な体と心の側面からの人間理解に加えて，性の側面からの理解をはかっている．その一つとして「性保健学」が必修科目となっており，筆者が担当している．

筆者は，人間を理解するもっとも身近な材料は自分自身であると思っている．教授計画は表1の通りであるが，性差についての授業の中の社会的文化的性差（ジェンダー）についての意識は時代とともに変化することから，学生自身に考えさせるとともに，学生の意識を教師自身も知る必要がある．つまり教授－学習活動を効果的に展開するためには，教師の担当科目に対する題材観，学生観，指導観，特に学生観の影響が大きい．そこで，ジェンダーに関する授業前に学生の意識調査を行ない，教師の立場から学生観の見直しをはかるとともに，結果を用いて学生自身にジェンダー意識を分析させ，性の側面からの人間理解の一助としている．

今回，3年間にわたる調査の結果をまとめたので報告する．授業展開にあたって学生理解の参考になれ

ば幸いである．

調査目的・目標

- 目的 看護学生のジェンダー意識を知る
- 目標 1). 社会的文化的性差（男らしさ女らしさ）に関する意識を知る
2). 男女の役割分担・社会活動についての意識を知る
3). 一般社会のジェンダー意識との相違を知る

調査対象

看護学科2年生 268名（女子学生のみ）アンケート
回収244名 回収率91%

内 訳

- 7期生（平成15年度入学生）90/77名（86%）
8期生（平成16年度入学生）93/90名（96%）
9期生（平成17年度入学生）85/77名（91%）

調査時期

- 7期生 平成16年11月4日
8期生 平成17年12月8日
いづれも2年生後期授業期間中
9期生 平成18年6月5日 2年生前期授業期間中

調査方法

- ・平成10年7月読売新聞社が実施した全国世論調査「男性と女性」と同じアンケートを、ジェンダーに関する授業（第4回）の開始直後に配布、回収した。
- ・倫理的配慮としては、アンケート配布前に趣旨を、提出については学生の自由、結果については授業で発表する旨の説明を行った。

結果

1. 対象の背景

7, 8, 9期生の年齢は、2名を除いた242名（99.2%）が19～23歳であり、学歴は全員高校卒である。関連する科目としては、1年次に人間発達学・人間関係論・行動科学・臨床心理学・人体の構造と機能などの看護基礎科目の授業が行われている。

2. 男らしさ女らしさについて

- ・「ふだん男・女の違いを意識することがあるか、ないか」については、各期生とも傾向は同じで、平均値は、多少はあるが63%で最も多く、続いて大いにあるが24%、両方合わせて90%近くが多少なりとも意識していた。（表2）
- ・「ふだん男らしくあるいは女らしくありたいと思っているか」については、7期生に思っていないがやや多いものの、平均では64%が思っていると答え、思っていないについては31%であった。（表3）
- ・「理想とする男性、女性各々の条件を3つあげる」という問に対しては、男性の条件は思いやりがある76%、頼りがいがある70%で他を大きく引き離し、3位自分の意見を持っている38%、4位責任感がある33%であった。（表4）各期生で多少バラツキがみられるものの上位はほとんど同じである。
- ・女性の条件は、1位気持ちがやさしい83%、性格が明るい61%で2位、次いで家事や育児がしっかりできる51%3位、容姿が美しい31%4位であった。（表5）各期生の間に差が少ない。

3. 男の生き方、女の生き方について

- ・「女性は、現在よりもっと家庭以外の社会的活動をすべきだと思うか、そうは思わないか」については、51%約半数がそう思うと回答している。そうは思わないのは37%であった。（表6）ただし、7期生より8期・9期生と次第に活動すべきだと思うのが約5%づつ減少し、思わないが、

10%増加している。

- ・「女性は結婚しなくても、十分に幸せな人生をおくることができると思うか、そうは思わないか」については、そう思うのが67%で約2/3、そう思わないのは31%約1/3弱であった。（表7）各期生の間に差は少ない。
 - ・「男性は仕事に専念し、女性は家事のことに専念するのがのぞましいと思うか、そうは思わないか」については91%がそうは思わないと答えている。（表8）
 - ・「男性は結婚し、家庭を持って初めて一人前だと思うか、そうは思わないか」については、そうは思わないが各期生とも圧倒的に多く80%を示した。（表9）
 - ・「婚姻届を出さない結婚でもかまわないと思うか、そうは思わないか」については、そうは思わない71%であった。7期生より8期・9期生と次第にそうは思わないの率が高くなっている。
 - ・「夫婦が希望すればそれぞれ結婚前の姓を名乗ってもかまわないと思うか、そうは思わないか」についてはそう思うのが74%を占めた。各期生の間の差は少ない。（表11）
- ### 4. 性別に関する諸事項について
- ・「最近、男性が行っていた仕事に女性の進出が目立っているが、この傾向を好ましいと思うか、好ましくないと思うか」については、好ましい、どちらかという好ましいを合わせると71%を占めた。どちらかと云えば好ましくないにバラツキがみられた。（表12）
 - ・「女性の上司の下で働くことに抵抗を感じるか、感じないか」については、全く抵抗を感じない、あまり抵抗を感じないを合わせると89%を占めた。（表13）
 - ・「性転換手術について本人が希望ならかまわないと思うか、好ましくないと思うか」については、かまわないが80%を占めた。（表14）
 - ・「もし生まれ変わることができるとしたら男に生まれたいか、女に生まれたいか」については、男に生まれたい36%、女に生まれたい59%であった。（表15）

考察

1. 男らしさ女らしさについて

- ①全国調査では、ふだん「男」「女」の違いを意識することのある人は、「大いに」「多少は」を合

わせて73%であるのに対して、看護学生は88%で高値を示した。(表16) 全国調査でも高齢層では違いを意識することのある人は58%と低いが、ほとんどの年代で7割を越えているとされていることから、看護学生では20歳前後の女子であることが高値を示した要因と考えられる。

- ②一方、全国調査では、男らしく女らしくという気持ちは高齢層に強く、60歳代以上が76%であるのに対して20・30歳代では64%であったと報告されており、看護学生の64%は、若年層に「らしさ」意識が比較的薄いという傾向に一致している。(表17)
- ③全国調査では理想とする男性の条件では、1位「責任感がある」、2位「思いやりがある」、3位「自分の意見を持っている」、4位「頼りがいがある」であり、女性から見た場合は1位「思いやりがある」、2位「責任感がある」、3位「頼りがいがある」となっているとのことである。看護学生は、女性から見た場合にほぼ一致しているが、3位に「自分の意見を持っている」があがっており、「責任感がある」は4位となっている。この点では全国平均に近いところもみられ、理論に裏付けられた判断力を要求される看護について日々教育されていること、クラスメートである男性(やさしく気弱なところがある)と接していることの影響もあると考えられる。(表18)
- ④全国調査の前回(平成6年9月実施)に比し、平成10年の全国調査では「気持ちがやさしい」「性格が明るい」は8~9ポイント増、家事や育児がしっかりできる10ポイント増、となった反面「知識や教養がある」「経済的に自立している」はそれぞれ11・9ポイントダウンしているとのことである。その理由を「景気低迷による雇用環境の悪化からいわゆる“キャリアウーマン”志向が影を潜め、家庭的な女性を理想とする傾向が強まっているものとみられる」としている。しかしながら、果たして真に“キャリアウーマン”志向は影を潜め、家庭的な女性を理想としているのであろうか。次に考察する結婚観や男女の役割分担・生き方などをみると当を得ていない解釈であるとも云える。(表19) 一世代前の女子高校生が望む男性像として「意志が強く、やさしく、仕事熱心で包容力のある」であり、男子高校生が望む女性像は「やさしく、すなおで、家庭的で、よく気がつきかわいらしい」で

ある。伝統的なあるいは文化的な社会環境に基づく女性像や男性像は容易に変換できないが、一人一人の価値観・条件の重みは多様化しつつあることがうかがわれる。

2. 「男の生き方」「女の生き方」について

- ①結婚観については、全国調査では「女性は結婚しなくても十分に幸せな人生をおくることができる」という考え方について「そう思う」47%、「そうは思わない」45%で意見が割れているのに対して、看護学生は「そう思う」67%、「そうは思わない」が31%で、差がみられる。(表21) ただ、全国調査でも女性は「そう思う」が51%と過半数に達し、20歳代では62%にのぼることであり、20歳代の女性の多い看護学生は、その例にもれず、結婚にこだわらない人生観をもっていると考えられる。
- ②現在「事実婚(できちゃった結婚)」がマスコミをにぎわせ、社会的容認があるようにも感じられるが、全国調査では62%、看護学生は71%が婚姻届を出さない結婚でもかまわないとは思っていない。日本では入籍無しの男女の関係を「同棲」「内縁関係」などと、正当でない意味を含んで捉えられ、「できちゃった結婚」に対しても、やや軽蔑を含んだ言葉として受けとめている向きがあり、まだまだ気軽に容認するには至っていない。しかし、全国調査では20歳代では52%が容認しているとのことである。事実婚が今後多くなると予測している。看護学生は20歳代であるにもかかわらず全国調査よりも容認していないが、これは聖職と呼ばれる看護職を希望する若い女性という背景が要因になるかと考えられる。(表24)
- ③夫婦別姓については、全国調査でも前回(平成6年)賛成の37%よりも今回(平成10年)は54%と増加しているということであるが、看護学生は74%とかなり高い数値を示している。(表25) 全国調査でも20・30歳代ではほぼ7割が結婚前の姓を名乗ってもかまわないとしているとあり、看護学生も含めて若年層には「同姓」へのこだわりが少ないとみることができる。
- ④「男性は仕事に専念し、女性は家事のことに専念するのがのぞましい」つまり「男性は仕事、女性は家庭」については、全国調査でも「そうは思わない」が61%と半数を超え、特に20歳代・30歳代では「そうは思わない」が8割にのぼ

っているとのことである。10年前の同種調査では賛成が58%、反対が38%であったとのこと。「男は仕事、女は家庭」という考え方はもはや過去のものになりつつあることがうかがえるとしている。看護学生では「そうは思わない」が91%を占めている、専門職をめざす看護学生としては当然の結果であると云える。(表22)

- ⑤「男は結婚し、家庭をもって一人前だ」については、全国調査では50%半数がそう思うに対して、看護学生は80%がそう思わないとしている。晩婚化、フリーター、ニートなど一般社会特に若年層の結婚観や職業観がこの数年の間に大きく変わってきたことを反映していることを示す数値と思われる。(表23)

3. 女性の社会進出について

- ①「女性の家庭以外の社会活動」については、「活動すべきと思う」は全国調査より看護学生の方が低く、「そう思わない」は高い数値を示している。(表20) 看護学生は専門職として家庭と仕事を両立させ、家庭に閉じこもるつもりのないことは前項の生き方の回答からもうかがわれる。従って質問の家庭以外の社会活動の解釈にバラつきがあったと考えられる。
- ②「男性がやっていた仕事に女性が進出する傾向を好ましいと思うか」については、全国調査では「好ましい」と「どちらかというといえは好ましい」を合わせると76%であり、看護学生も71%となっているが、全国調査では「好ましい」が43%に対して、看護学生は「どちらかといえは好ましい」が46%である。(表26)
- ③一方「女性の上司のもとで働くことに抵抗を感じるか」について全国調査では、抵抗を感じる・多少は抵抗を感じるを合わせると37%に及ぶが、看護学生は11%と低い数値である。(表27) 一般社会では男性職場への女性の進出をたてまえては歓迎しているものの、実際の職場では抵抗があり、特に管理・専門職の男性は抵抗を感じる人が、全国調査でも56%にのぼったとのことである。ただし、抵抗を感じる男性の若年層の20歳代では23%、女性全体では23%で、30歳代以上の男性に抵抗感が強く、さらに既に責任ある立場にいる男性の女性に仕えることへの反発が強いと解説されている。確かにこれが実態であると思われるが、看護学生は仕える上司の多くは女性であることは明らかであり、ま

た、20歳代であることから当然の数値であると考えられ、看護師の働く職場の特殊性からとみることができる。

4. 性別について

- ①一方、性転換手術については全国調査とはかなり違った回答となっている。(表28) 即ち性転換かまわれないが80%を占め、全国調査の倍となっている。このことについては「性保健学」の授業より早い段階で関連する授業「人間発達学」・「人間関係論」があり、その影響で性転換手術に対する認識において、一般社会の人々とはかなり異なっていると考えられる。
- ②「もし生まれ変わることができるとしたら男に生まれたいか・女に生まれたいか」については全国調査では男に生まれたい54%に対して看護学生は36%、女に生まれたい全国調査39%に対して看護学生59%で、看護職は永い間女性の天職としてあるいは女性の特性を生かした職業であるという一般常識が背景にあることがうかがわれる。(表29)

まとめ

1. 看護学生のジェンダー意識は、一般的な調査の若年層にみられる意識と一致する面が多くみられた。
2. 専門職である看護職を志向している女性としてのジェンダー意識がみられた。
3. 看護職に必要な学習の影響を受けたと思われるジェンダー意識がみられた。

おわりに

性差の授業の展開にあたって学生の意識を知るとともに、学生が学習しなければならない性の側面からの人間理解の一助になることを願って行ったアンケート結果である。学生観の参考になれば幸いである。

参考文献

- 1) 福富護：男らしさ女らしさの見方。こころの科学，25：39-43，1989。
- 2) 山上健，山上竜也：性とこころの健康読本。医歯薬出版（東京），1999。
- 3) 青木康子ら編：人間の性・生殖。助産学体系。第2巻。日本看護協会出版会（東京），2003。

表1 性保健学 授業計画

| 回 | 授業テーマ | 授業内容 |
|-----|-------------------|---|
| 第1回 | 性保健学とは 性の概念・意義 | 性保健学学習の目的と性の概念・意義について知る。 |
| 第2回 | 性の発達 | 生物学的側面からの性の発達について知る。 ライフサイクルと性について知る。 |
| 第3回 | 性差 | ヒトの性の発生と性差について知る。 脳における性差について知る。 |
| 第4回 | 心理的次元の性 | 性の心理的認識について知る。 ジェンダーと性役割について学ぶ。 性差について知る。 |
| 第5回 | 性保健活動 | 性保健にかかわる諸問題（生活環境・社会環境）を知る。 性教育の必要性と活動の実態を知る。 |
| 第6回 | 看護と性 | 入院と性、病者の役割行動と性、性的な行動への対応について知る。 |
| 第7回 | 今後の課題 まとめ | 性保健学の現在の動向を知り、今後の課題を知る。 自己の性に対する考えをまとめる。 |

◆履修のポイント◆
看護の対象である人間を理解するためには、体と心の側面から加えて性の側面からもみることが必要である。本授業では、その基本となる知識を学び、性について自己の考えをまとめるようにするとともに、看護との関係を把握し、看護実践に活用できるようにされたい。

表2

問 あなたは、ふだん「男」「女」の違いを意識することがありますか、ありませんか。

| | 看護学生 | | | |
|----------|--------|--------|--------|--------|
| | 平成16年度 | 平成17年度 | 平成18年度 | 平均 |
| 1. 大いにある | 19.5 % | 27.8 % | 26.0 % | 24.4 % |
| 2. 多少はある | 66.4 | 58.9 | 64.9 | 63.3 |
| 3. あまりない | 11.7 | 11.1 | 9.1 | 10.6 |
| 4. 全くない | 1.2 | 2.2 | 0 | 1.1 |
| 5. その他 | 1.3 | 0 | 0 | 0.4 |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

表3

問 ふだん「男らしく」あるいは「女らしく」ありたいと思っていますか、そうは思っていないか。

| | 看護学生 | | | |
|-----------|--------|--------|--------|--------|
| | 平成16年度 | 平成17年度 | 平成18年度 | 平均 |
| 1. 思っている | 51.9 % | 73.4 % | 67.5 % | 64.2 % |
| 2. 思っていない | 39.0 | 24.4 | 29.9 | 31.1 |
| 3. その他 | 9.1 | 2.2 | 2.6 | 4.6 |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

表4

問 あなたが理想とする男性の条件をあげるとしたら、何ですか。次の中から3つまであげて下さい。

| | 看護学生 | | | | 順位 |
|----------------|--------|--------|--------|--------|----|
| | 平成16年度 | 平成17年度 | 平成18年度 | 平均 | |
| 1. 思いやりがある | 74.0 % | 72.2 % | 83.1 % | 76.4 % | ① |
| 2. 自分の意見を持っている | 45.5 | 35.6 | 32.5 | 37.8 | ③ |
| 3. 頼りがいがある | 72.7 | 75.6 | 61.0 | 69.7 | ② |
| 4. 忍耐力がある | 10.4 | 6.7 | 18.2 | 11.7 | |
| 5. 責任感がある | 28.6 | 35.6 | 35.1 | 33.1 | ④ |
| 6. 知識や教養がある | 15.6 | 13.3 | 14.3 | 14.4 | |
| 7. 要領や体格がよい | 24.7 | 15.6 | 13.0 | 17.7 | ⑤ |
| 8. 経済力がある | 20.8 | 35.6 | 23.4 | 26.6 | |
| 9. 仕事ができる | 5.2 | 5.6 | 11.7 | 7.5 | |
| 10. その他 | 2.6 | 3.3 | 1.3 | 2.4 | |

表5

問 あなたが理想とする女性の条件をあげるとしたら、何ですか。次の中から3つまであげて下さい。

| | 看護学生 | | | | 順位 |
|------------------|--------|--------|--------|--------|----|
| | 平成16年度 | 平成17年度 | 平成18年度 | 平均 | |
| 1. 気持がやさしい | 87.0 % | 82.2 % | 79.2 % | 82.8 % | ① |
| 2. 容姿が美しい | 24.7 | 34.4 | 33.8 | 30.9 | ④ |
| 3. 性格が明るい | 63.6 | 61.1 | 58.4 | 61.0 | ② |
| 4. 控えめでおとなしい | 2.6 | 5.6 | 7.8 | 5.3 | |
| 5. 自分の意見をはっきりいう | 28.6 | 17.8 | 27.3 | 24.5 | ⑤ |
| 6. 知識や教養がある | 22.1 | 15.6 | 18.2 | 18.6 | |
| 7. 家事や育児がしっかりできる | 44.2 | 53.3 | 55.8 | 51.1 | ③ |
| 8. 経済的に自立している | 13.0 | 7.8 | 10.4 | 10.4 | |
| 9. 仕事がよくできる | 5.2 | 2.2 | 2.6 | 3.3 | |
| 10. その他 | 2.6 | 2.2 | 1.3 | 2.0 | |

表6

問 女性は現在よりもっと家庭以外の社会的活動をすべきだと思いますか、そうは思いませんか。

| | 看護学生 | | | |
|------------|--------|--------|--------|--------|
| | 平成16年度 | 平成17年度 | 平成18年度 | 平均 |
| 1. そう思う | 55.8 % | 51.1 % | 45.5 % | 50.8 % |
| 2. そうは思わない | 27.3 | 38.9 | 45.5 | 37.2 |
| 3. その他 | 16.9 | 10.0 | 9.0 | 12.0 |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

表7

問 女性は結婚しなくても、十分に幸せな人生をおくることができると思いませんか、そうは思いませんか。

| | 看護学生 | | | |
|------------|--------|--------|--------|--------|
| | 平成16年度 | 平成17年度 | 平成18年度 | 平均 |
| 1. そう思う | 63.6 % | 65.6 % | 70.1 % | 66.5 % |
| 2. そうは思わない | 28.6 | 34.4 | 28.6 | 30.5 |
| 3. その他 | 7.8 | 0 | 1.3 | 3.0 |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

表8

問 男性は仕事に専念し、女性は家事のことに専念するのが望ましいと思いませんか、そうは思いませんか。

| | 看護学生 | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|
| | 平成16年度 | 平成17年度 | 平成18年度 | 平均 |
| 1. そう思う | 2.6 % | 5.6 % | 6.5 % | 4.9 % |
| 2. そうは思わない | 92.2 | 87.8 | 93.5 | 91.2 |
| 3. その他 | 5.2 | 6.6 | 0 | 3.9 |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

表9

問 「男性は結婚し、家庭をもって初めて一人前だ」と思いませんか、そうは思いませんか。

| | 看護学生 | | | |
|------------|--------|--------|--------|--------|
| | 平成16年度 | 平成17年度 | 平成18年度 | 平均 |
| 1. そう思う | | 20.0 % | 19.5 % | 19.8 % |
| 2. そうは思わない | | 80.0 | 79.2 | 79.6 |
| 3. その他 | | 0 | 1.3 | 0.6 |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

表10

問 「婚姻届を出さない結婚でもかまわない」と思いませんか、そうは思いませんか。

| | 看護学生 | | | |
|------------|--------|--------|--------|--------|
| | 平成16年度 | 平成17年度 | 平成18年度 | 平均 |
| 1. そう思う | 33.8 % | 22.2 % | 19.5 % | 25.5 % |
| 2. そうは思わない | 57.1 | 76.7 | 79.2 | 71.0 |
| 3. その他 | 9.1 | 1.1 | 1.3 | 3.8 |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

表11

問 「夫婦が希望すれば、それぞれ結婚前の姓を名乗ってもかまわない」と思いませんか、そうは思いませんか。

| | 看護学生 | | | |
|------------|--------|--------|--------|--------|
| | 平成16年度 | 平成17年度 | 平成18年度 | 平均 |
| 1. そう思う | 75.3 % | 76.7 % | 68.9 % | 73.6 % |
| 2. そうは思わない | 19.5 | 22.2 | 31.1 | 24.3 |
| 3. その他 | 5.2 | 1.1 | 0 | 2.1 |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

表12

問 最近、トラックの運転手や工事現場の作業員など、これまで男性がやっていた仕事に、女性の進出が目立っています。あなたはこの傾向を好ましいと思いませんか、好ましくないと思いませんか。

| | 看護学生 | | | |
|------------------|--------|--------|--------|--------|
| | 平成16年度 | 平成17年度 | 平成18年度 | 平均 |
| 1. 好ましい | 31.2 % | 24.4 % | 19.5 % | 25.6 % |
| 2. どちらかという好ましい | 42.8 | 37.8 | 57.1 | 45.9 |
| 3. どちらかという好ましくない | 13.0 | 24.4 | 19.5 | 18.9 |
| 4. 好ましくない | 0 | 4.4 | 0 | 1.5 |
| 5. その他 | 13.0 | 8.9 | 3.9 | 8.6 |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

表13

問 あなたは、女性の上司のもとで働くことに抵抗を感じますか、感じませんか。お勤めでない方はそのような場面を思い浮かべてお答え下さい。

| | 看護学生 | | | |
|---------------|--------|--------|--------|-------|
| | 平成16年度 | 平成17年度 | 平成18年度 | 平均 |
| 1. 非常に抵抗を感じる | 1.2 % | 1.1 % | 2.5 % | 1.6 % |
| 2. 多少抵抗を感じる | 11.7 | 10.0 | 6.5 | 9.4 |
| 3. あまり抵抗を感じない | 40.3 | 33.3 | 48.1 | 40.6 |
| 4. 全く抵抗を感じない | 46.8 | 55.6 | 42.9 | 48.4 |
| 5. その他 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

表14

問 自分の性別に違和感を感じ、女性になりたいあるいは男性になりたいという人のための性転換手術について、あなたは本人の希望ならかまわないと思いませんか、それとも好ましくないと思いませんか。

| | 看護学生 | | | |
|--------------|--------|--------|--------|--------|
| | 平成16年度 | 平成17年度 | 平成18年度 | 平均 |
| 1. かまわない | 83.2 % | 83.3 % | 72.7 % | 79.7 % |
| 2. 好ましくない | 1.2 | 0 | 2.6 | 1.3 |
| 3. どちらともいえない | 15.6 | 14.4 | 24.7 | 18.3 |
| 4. その他 | 0 | 2.2 | 0 | 0.7 |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

表 15

問 あなたは、もし生まれ変わることができるとしたら、男に生まれたいと思いますか、女に生まれたいと思いますか。

| | 看護学生 | | | |
|------------|--------|--------|--------|--------|
| | 平成16年度 | 平成17年度 | 平成18年度 | 平均 |
| 1. 男に生まれたい | 33.8 % | 27.8 % | 45.5 % | 35.7 % |
| 2. 女に生まれたい | 57.1 | 67.8 | 51.9 | 58.9 |
| 4. その他 | 9.1 | 4.4 | 2.6 | 5.4 |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

表 16

問 あなたは、ふだん「男」「女」の違いを意識することがありますか、ありませんか。

| | 看護学生 平均 | 全国調査 |
|----------|---------|--------|
| 1. 大いにある | 24.4 % | 30.8 % |
| 2. 多少はある | 63.3 | 42.2 |
| 3. あまりない | 10.6 | 21.6 |
| 4. 全くない | 1.1 | 4.9 |
| 5. その他 | 0.4 | 0.5 |
| 計 | 100.0 | 100.0 |

表 17

問 ふだん「男らしく」あるいは「女らしく」ありたいと思っていますか、そうは思っていないですか。

| | 看護学生 平均 | 全国調査 |
|-----------|---------|--------|
| 1. 思っている | 64.2 % | 70.2 % |
| 2. 思っていない | 31.1 | 27.2 |
| 3. その他 | 4.6 | 2.6 |
| 計 | 100.0 | 100.0 |

表 18

問 あなたが理想とする男性の条件をあげるとしたら、何ですか。次の中から3つまであげてください。

| | 看護学生 | | 全国調査 | 順位 |
|----------------|--------|----|--------|----|
| | 平均 | 順位 | | |
| 1. 思いやりがある | 76.4 % | ① | 52.1 % | ② |
| 2. 自分の意見を持っている | 37.8 | ③ | 39.3 | ③ |
| 3. 頼りがいがある | 69.7 | ② | 37.1 | ④ |
| 4. 忍耐力がある | 11.7 | | 16.3 | |
| 5. 責任感がある | 33.1 | ④ | 63.8 | ① |
| 6. 知識や教養がある | 14.4 | | 16.6 | |
| 7. 容姿や体格がよい | 17.7 | | 2.5 | |
| 8. 経済力がある | 26.6 | ⑤ | 32.1 | ⑤ |
| 9. 仕事ができる | 7.5 | | 15.8 | |
| 10. その他 | 2.4 | | 1.7 | |

表 19

問 あなたが理想とする女性の条件をあげるとしたら、何ですか。次の中から3つまであげてください。

| | 看護学生 | | 全国調査 | 順位 |
|------------------|--------|----|--------|----|
| | 平均 | 順位 | | |
| 1. 気持ちがやさしい | 82.8 % | ① | 71.0 % | ① |
| 2. 容姿が美しい | 30.9 | ④ | 8.0 | |
| 3. 性格が明るい | 61.0 | ② | 57.9 | ② |
| 4. 控えめでおとなしい | 5.3 | | 12.1 | |
| 5. 自分の意見をはっきりいう | 24.5 | ⑤ | 35.3 | ④ |
| 6. 知識や教養がある | 18.6 | | 19.1 | ⑥ |
| 7. 家事や育児がしっかりできる | 51.1 | ③ | 53.7 | ③ |
| 8. 経済的に自立している | 10.4 | | 8.9 | |
| 9. 仕事がよくできる | 3.3 | | 4.6 | |
| 10. その他 | 2.0 | | 1.9 | |

表 20

問 女性は現在よりもっと家庭以外の社会的活動をすべきだと思いますか、そうは思いませんか。

| | 看護学生 平均 | 全国調査 |
|------------|---------|--------|
| 1. そう思う | 50.8 % | 63.6 % |
| 2. そうは思わない | 37.2 | 31.7 |
| 3. その他 | 12.0 | 4.7 |
| 計 | 100.0 | 100.0 |

表 21

問 女性は結婚しなくても、十分に幸せな人生をおくることができると思いますか、そうは思いませんか。

| | 看護学生 平均 | 全国調査 |
|------------|---------|--------|
| 1. そう思う | 66.5 % | 47.2 % |
| 2. そうは思わない | 30.5 | 45.3 |
| 3. その他 | 3.0 | 0.0 |
| 計 | 100.0 | 100.0 |

表 22

問 男性は仕事に専念し、女性は家事のことに専念するのが望ましいと思いますか、そうは思いませんか。

| | 看護学生 平均 | 全国調査 |
|------------|---------|--------|
| 1. そう思う | 4.9 % | 35.9 % |
| 2. そうは思わない | 91.2 | 60.5 |
| 3. その他 | 3.9 | 3.6 |
| 計 | 100.0 | 100.0 |

表 23

問 「男性は結婚し、家庭をもって初めて一人前だ」と思いますか、そうは思いませんか。

| | 看護学生 平均 | 全国調査 |
|------------|---------|--------|
| 1. そう思う | 19.8 % | 50.1 % |
| 2. そうは思わない | 79.6 | 47.7 |
| 3. その他 | 0.6 | 2.2 |
| 計 | 100.0 | 100.0 |

表 24

問 「婚姻届を出さない結婚でもかまわない」と思いますか、そうは思いませんか。

| | 看護学生 平均 | 全国調査 |
|------------|---------|--------|
| 1. そう思う | 25.5 % | 35.9 % |
| 2. そうは思わない | 71.0 | 61.5 |
| 3. その他 | 3.8 | 2.6 |
| 計 | 100.0 | 100.0 |

表 25

問 「夫婦が希望すれば、それぞれ結婚前の姓を名乗ってもかまわない」と思いますか、そうは思いませんか。

| | 看護学生 平均 | 全国調査 |
|------------|---------|--------|
| 1. そう思う | 73.6 % | 53.8 % |
| 2. そうは思わない | 24.3 | 46.2 |
| 3. その他 | 2.1 | 3.0 |
| 計 | 100.0 | 100.0 |

表 26

問 最近、トラックの運転手や工事現場の作業員など、これまで男性がやっていた仕事に、女性の進出が目立っています。あなたはこの傾向を好ましいと思いますか、好ましくないと思いますか。

| | 看護学生 平均 | 全国調査 |
|------------------|---------|--------|
| 1. 好ましい | 25.6 % | 43.3 % |
| 2. どちらかという好ましい | 45.9 | 32.2 |
| 3. どちらかという好ましくない | 18.9 | 15.3 |
| 4. 好ましくない | 1.5 | 5.7 |
| 5. その他 | 8.6 | 3.5 |
| 計 | 100.0 | 100.0 |

表 27

問 あなたは、女性の上司のもとで働くことに抵抗を感じますか、感じませんか。お勧めでない方はそのような場面を思い浮かべてお答え下さい。

| | 看護学生 平均 | 全国調査 |
|---------------|---------|-------|
| 1. 非常に抵抗を感じる | 1.6 % | 8.7 % |
| 2. 多少は抵抗を感じる | 9.4 | 27.9 |
| 3. あまり抵抗を感じない | 40.6 | 32.8 |
| 4. 全く抵抗を感じない | 48.4 | 26.9 |
| 5. その他 | 0 | 3.7 |
| 計 | 100.0 | 100.0 |

表 28

問 自分の性別に違和感を持ち、女性になりたいあるいは男性になりたいという人のための性転換手術について、あなたは本人の希望ならかまわないと思いますか、それとも好ましくないと思いますか。

| | 看護学生 平均 | 全国調査 |
|--------------|---------|--------|
| 1. かまわない | 79.7 % | 40.6 % |
| 2. 好ましくない | 1.3 | 40.2 |
| 3. どちらともいえない | 18.3 | 17.4 |
| 4. その他 | 0.7 | 1.8 |
| 計 | 100.0 | 100.0 |

表 29

問 あなたは、もし生まれ変わることができるとしたら、男に生まれたいと思いますか、女に生まれたいと思いますか。

| | 看護学生 平均 | 全国調査 |
|------------|---------|--------|
| 1. 男に生まれたい | 35.7 % | 53.6 % |
| 2. 女に生まれたい | 58.9 | 39.0 |
| 4. その他 | 5.4 | 7.4 |
| 計 | 100.0 | 100.0 |

Gender Consciousness of Nursing Students

Yasuko Aoki

Abstract

Nursing is for a human being and it is practiced on the basis of human understanding. Therefore, in nursing education, we lay great emphasis on understanding the patients and we are teaching with the curricula which make our students study not only body and mind in general but also human sexuality in our college. In Human Sexuality in Health Education, which is one of the nursing courses in our college, we have conducted an investigation into sex difference, especially the social and cultural differences in gender which reflect the times. The purpose of this survey was to make the nursing students think about human sexuality in order to help them understand the patients, and to make our teachers reconfirm their images of their students.

As compared with the results of the national survey, we have observed the differences in their views of marriage, occupation, and gender role, which may be peculiar to our students, although many of their views were in accordance with the younger generation in our country.

Keywords: Gender, Sex difference, Gender role